

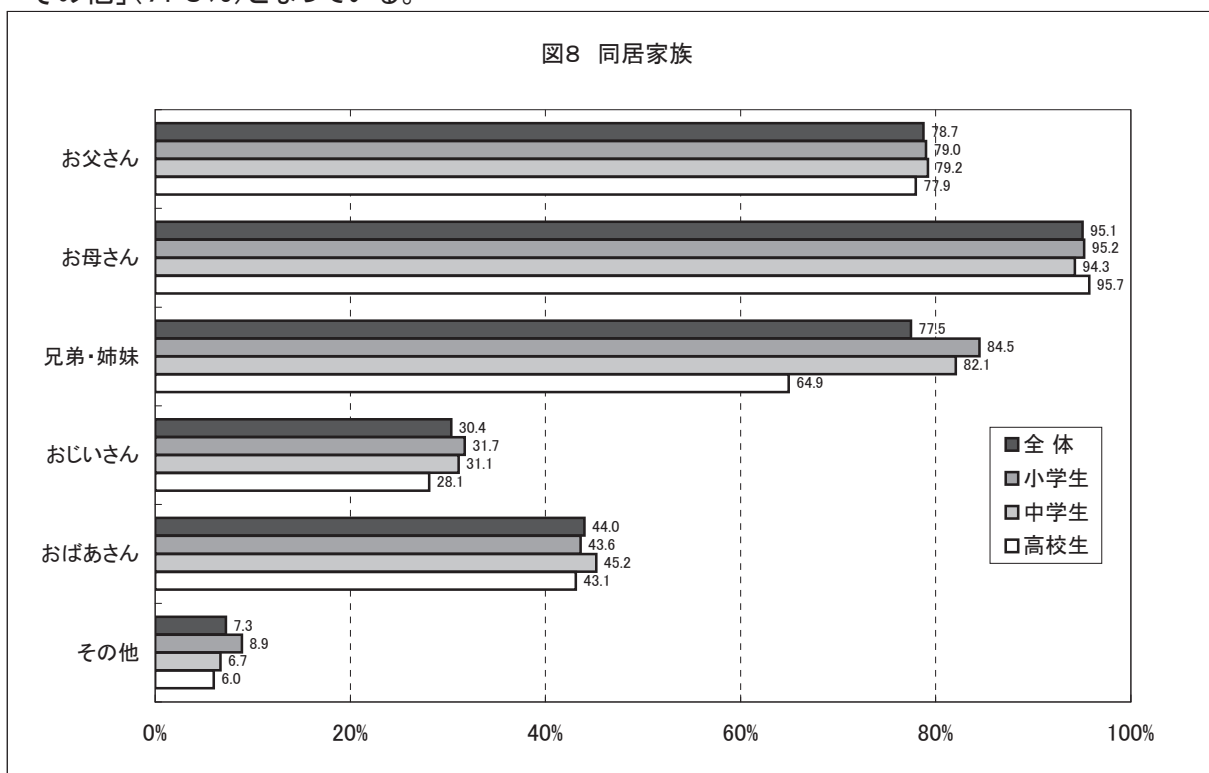
3. 家族・家庭のこと

< 同居家族 >

問3 あなたは、現在誰といっしょに暮らしていますか。いっしょに暮らしているすべての人を選んでください。

【全体集計結果】

同居している家族について尋ねたところ、「お母さん」が95.1%で最も高く、以下、「お父さん」(78.7%)、「兄弟・姉妹」(77.5%)、「おばあさん」(44.0%)、「おじいさん」(30.4%)、「その他」(7.3%)となっている。

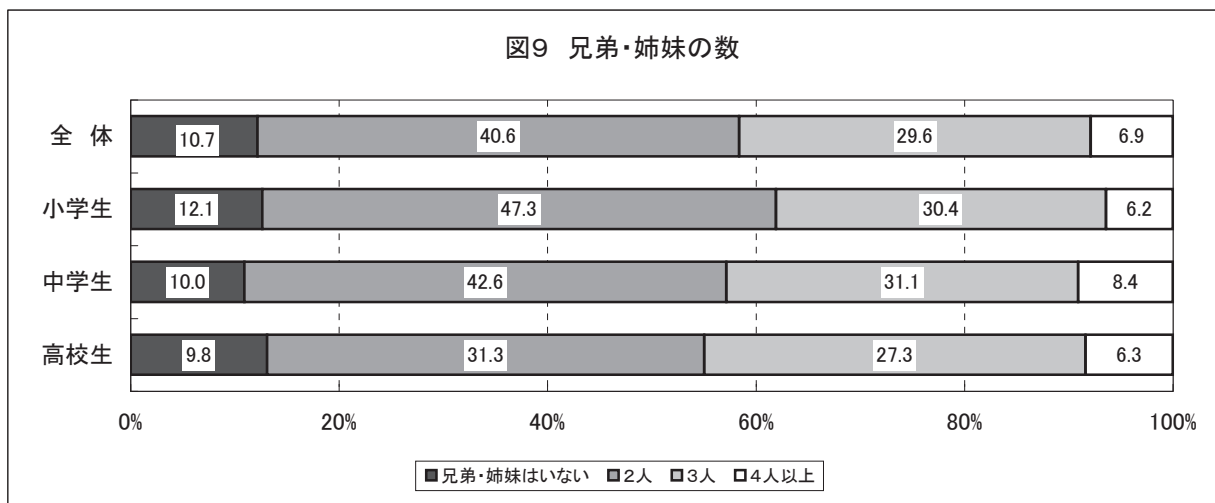


< 兄弟・姉妹の数 >

問4 あなたは、何人兄弟・姉妹ですか。あなたも合わせた人数の番号を選んでください。

【全体集計結果】

兄弟・姉妹の数について尋ねたところ、「2人」が40.6%で最も高く、以下、「3人」(29.6%)、「兄弟・姉妹はいない」(10.7%)、「4人以上」(6.9%)となっている。



< 「家庭の日」の周知状況 >

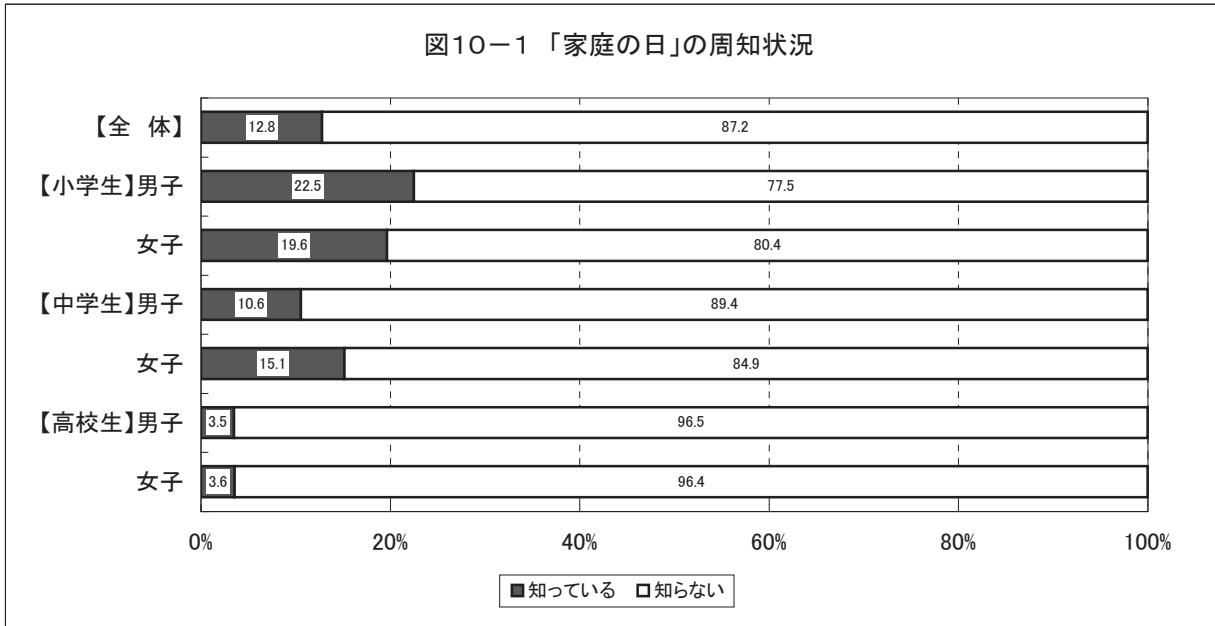
問9 あなたは、毎月第3日曜日が「家庭の日」(家族そろって楽しく過ごす日)であることを知っていますか。

【全体集計結果】

県が定めている毎月第3日曜日の「家庭の日」について尋ねたところ、全体では87.2%が「知らない」と回答している。

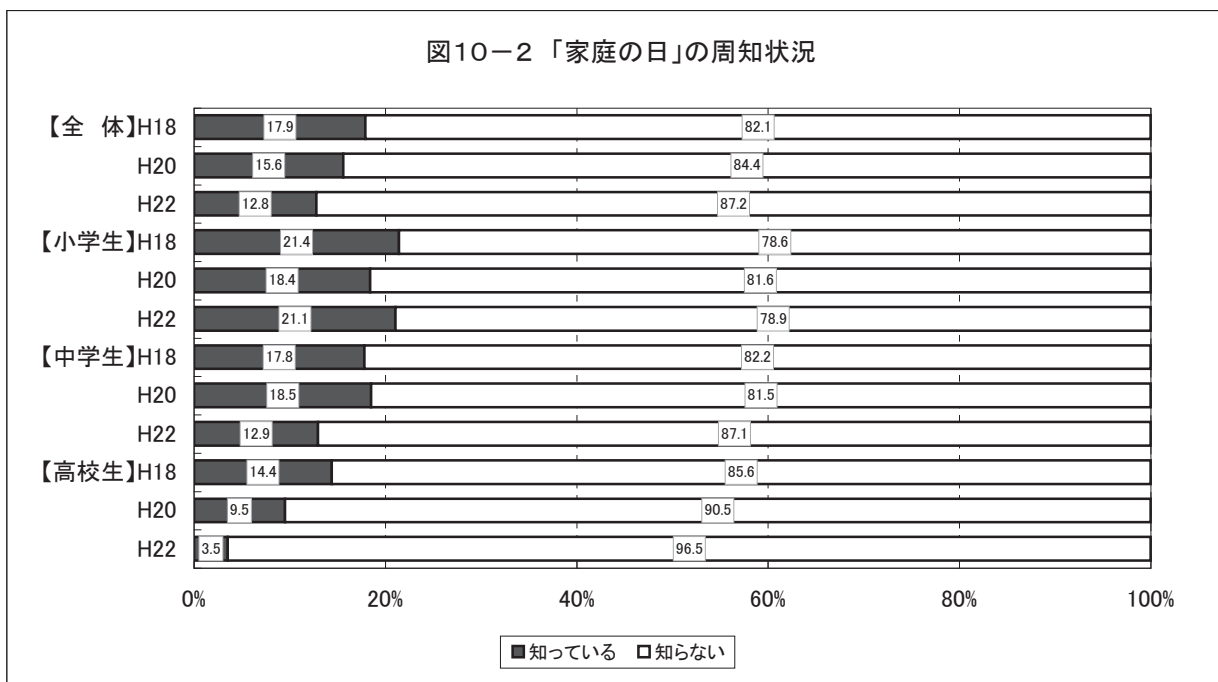
【学校種別集計状況】

「知っている」を見てみると、小学生が21.1%で最も高く、以下、中学生(12.9%)、高校生(3.5%)となっている。また、小学生男子が22.5%で最も高く、高校生は男女ともに「知っている」が極端に低い。



【時系列比較(平成18年度、20年度との調査比較)】

「知っている」について、過去の調査と比較すると全体では年々低くなってきている。学校種別で見ると、小学生は前回調査よりも増えているが、中学生、高校生は減っており、特に高校生の減り方が激しい。





毎月第3日曜日は「家庭の日」

県では、ぬくもりある家庭づくりを促進するため、県民それぞれが地域にかえり、家庭単位で過ごす日として、平成11年9月に「青森県家庭の日及びノー行事デイを定める要綱」を制定し、その普及・啓発を図ってきました。

*「家庭の日」

「家庭の日」は、毎月第3日曜日です。

家庭が青少年の健全な育成を図る上で大切な役割を担っていることから、「家庭の日」には、家庭づくりについて家庭内で考え、話し合い、楽しみ合い、協力し合う日としています。

*「ノー行事デイ」

「ノー行事デイ」は、毎年5月の第3日曜日です。

家庭で過ごす時間を充実させ、家庭内の連帯を実行あるものとするため、毎年5月を「家庭の日」普及強化月間としています。また、「ノー行事デイ」には、県などが原則として行事を開催しないこととしています。

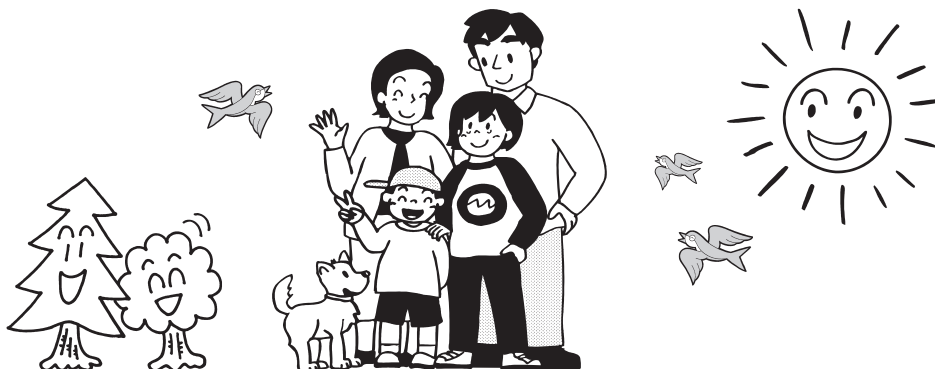
* 普及啓発の取り組み

県では、平成12年度から「家庭の日」に関する作品募集やカレンダー、リーフレットの作成・配布のほか、庁内や市町村等に対する周知・協力依頼、ホームページの作成を行ってきました。

平成15年度からは、作品募集やカレンダー等の作成については、青少年育成青森県民会議が県の補助事業として実施しています。

平成22年度に実施した作品募集では、小・中学生からは「図画、ポスター、家族への手紙」を、一般県民からは「家族への手紙」を募集し、総計580点の応募がありました。

県及び青少年育成青森県民会議では、今後も引き続き作品募集などを通して普及・啓発を図っていくこととしています。



< 家族がいる家への評価 >

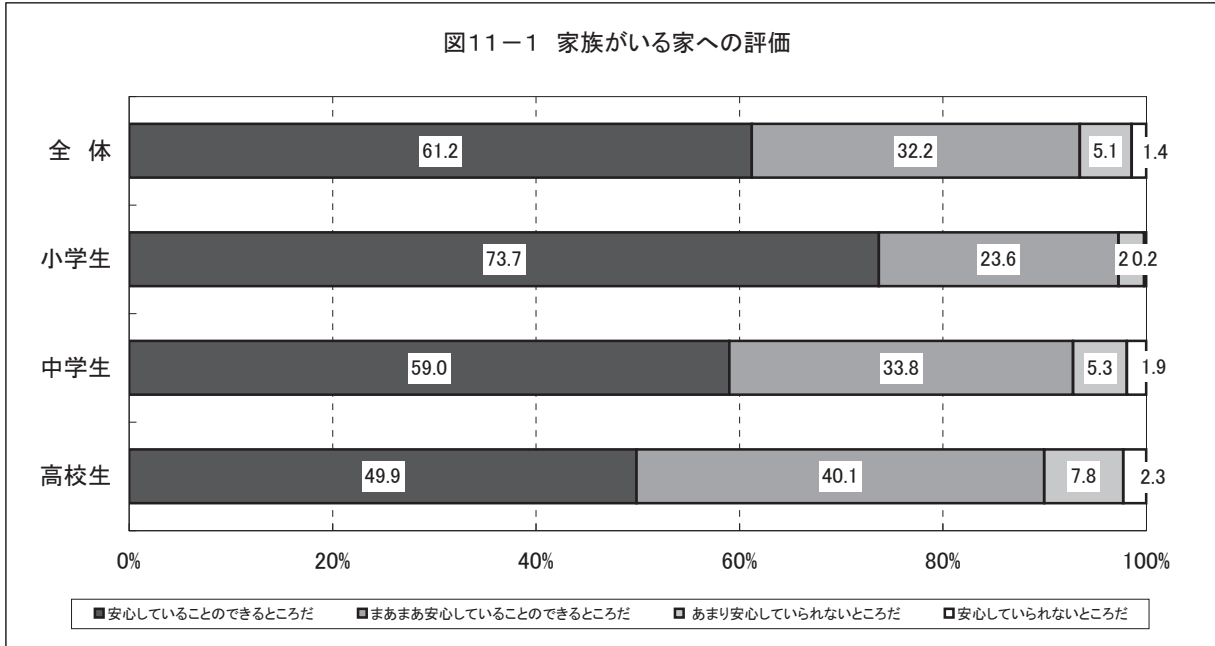
問10 あなたにとって、家族は、安心していただける場所ですか。

【全体集計結果】

家が安心していただける場所かどうか尋ねたところ、「安心していただける場所だ」が61.2%で最も高い。「安心していただける場所だ」と「まあまあ安心していただける場所だ」を合わせた『安心していただける場所だ』は、93.4%となっている。

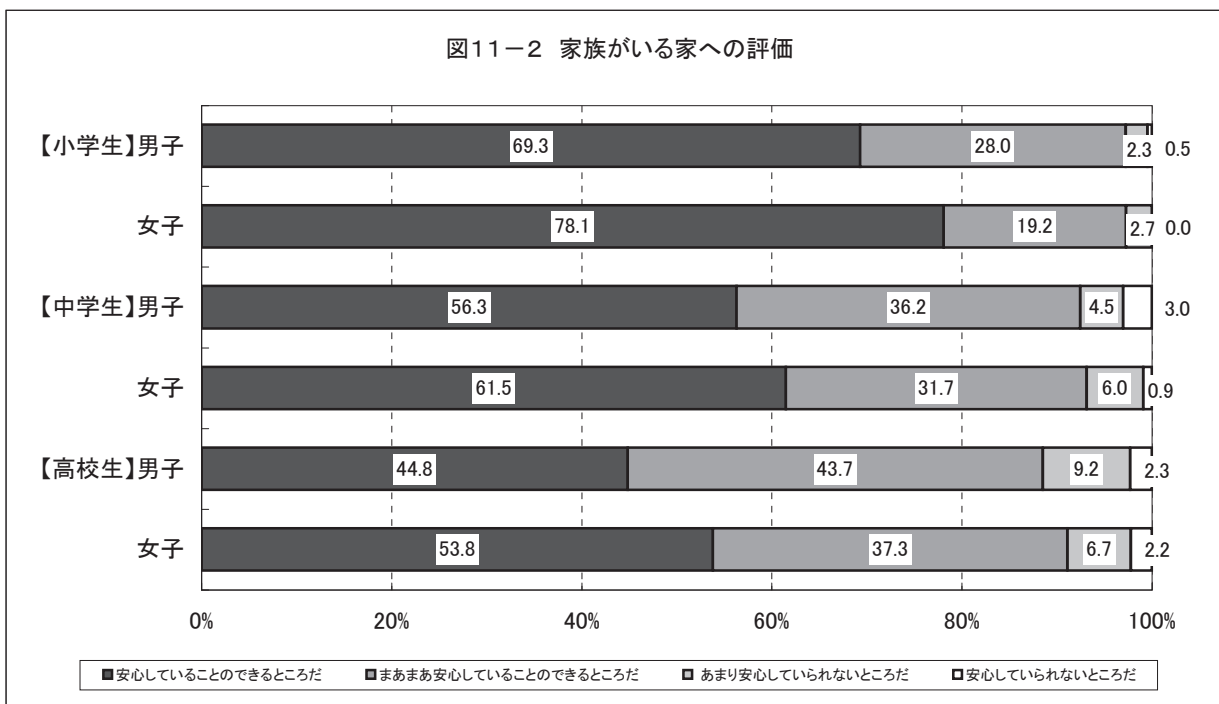
【学校種別集計結果】

『安心していただける場所だ』を見てみると、小学生が73.7%で最も高く、以下、中学生(59.0%)、高校生(49.9%)となっている。



【属性別集計結果】

『安心していただける場所だ』を見てみると、小学女子が78.1%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも男女間の差はほとんどない。



< 家族との約束ごと >

問11 毎日の生活について、家族とどんな約束ごとをしていますか。あてはまるものはいくつでも選んでください。

【全体集計結果】

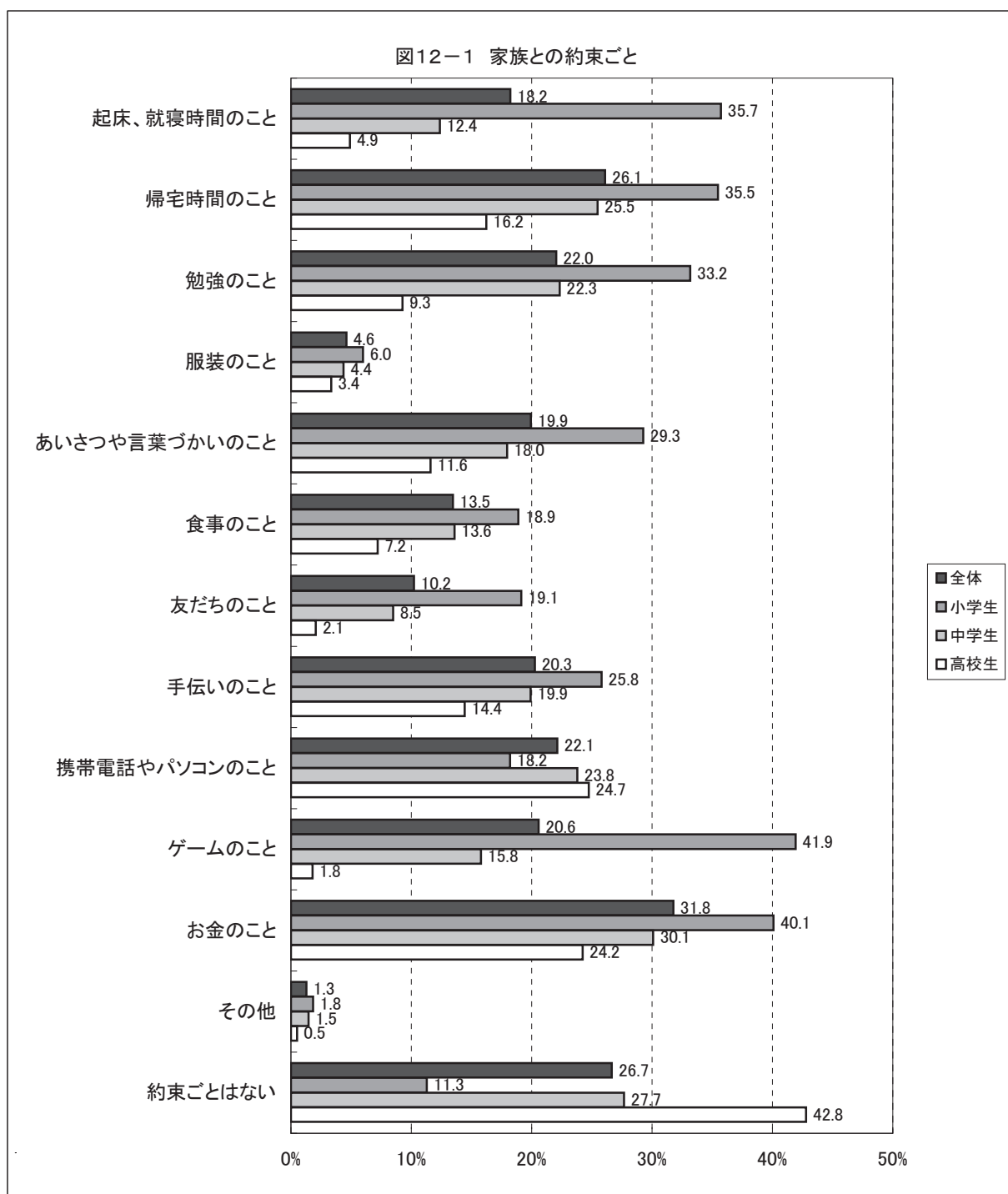
家族との約束ごとについて尋ねたところ、「お金のこと」が31.8%で最も高く、以下、「約束ごとはない」(26.7%)、「帰宅時間のこと」(26.1%)、などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「ゲームのこと」が41.9%で最も高い。以下、「お金のこと」(40.1%)、「起床、就寝時間のこと」(35.7%)などとなっている。

中学生では、「お金のこと」が30.1%で最も高い。以下、「約束事はない」(27.7%)、「携帯電話やパソコンのこと」(24.7%)などとなっている。

高校生では、「約束ごとはない」が42.8%で最も高い。以下、「携帯電話やパソコンのこと」(24.7%)、「お金のこと」(24.2%)などとなっている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれの割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- 「ゲームのこと」(50.2%)
- 「お金のこと」(40.6%)
- 「帰宅時間のこと」(40.1%)

〈小学女子〉

- 「お金のこと」(39.6%)
- 「起床、就寝時間のこと」(35.5%)
- 「あいさつや言葉づかいのこと」(33.6%)
- 「ゲームのこと」(33.6%)

〈中学男子〉

- 「お金のこと」(30.3%)
- 「約束ごとはない」(29.7%)
- 「帰宅時間のこと」(24.1%)

〈中学女子〉

- 「携帯電話やパソコンのこと」(30.0%)
- 「ゲームのこと」(30.0%)
- 「帰宅時間のこと」(26.7%)

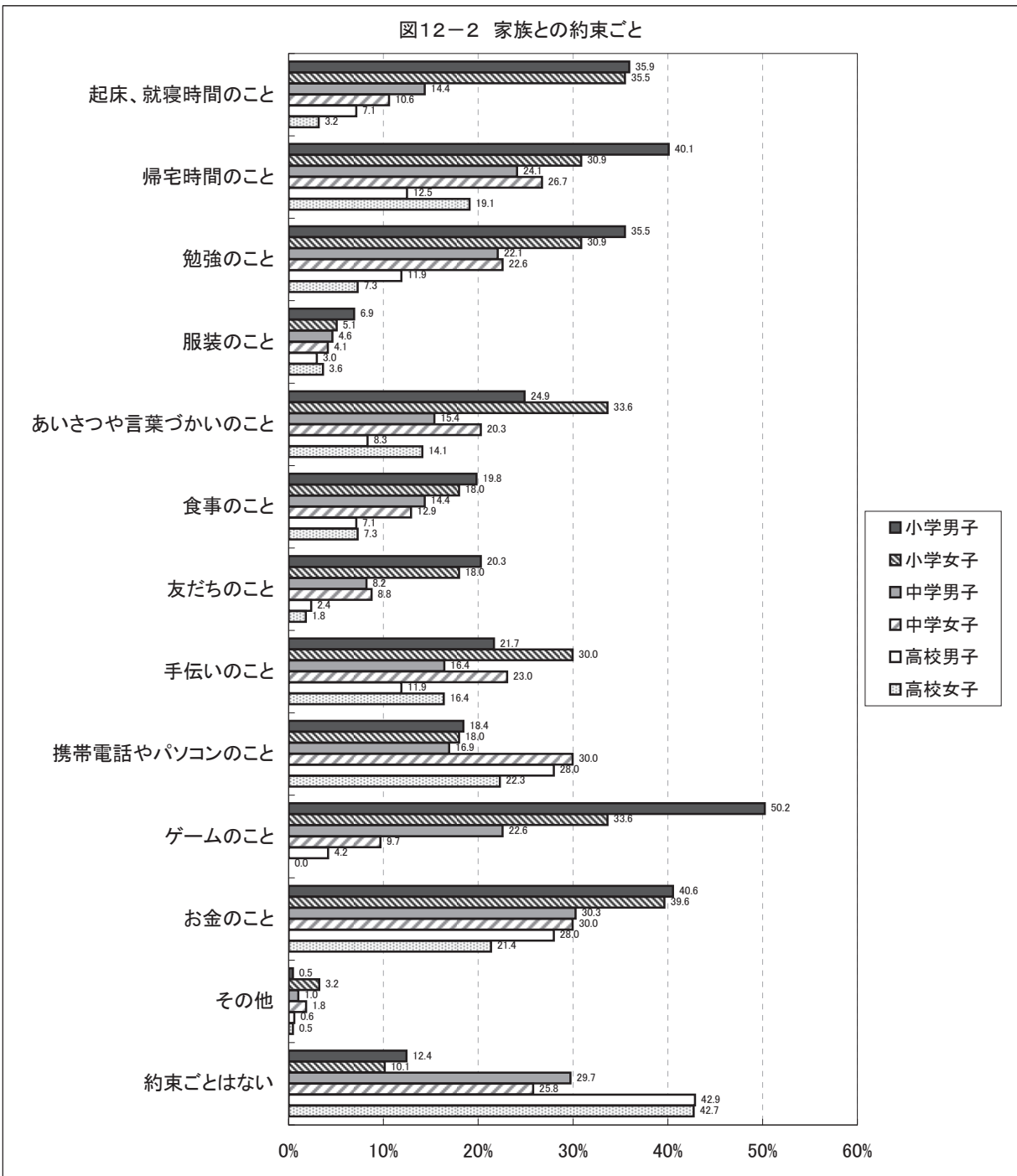
〈高校男子〉

- 「約束ごとはない」(42.9%)
- 「お金のこと」(28.0%)
- 「携帯電話やパソコンのこと」(28.0%)

〈高校女子〉

- 「約束ごとはない」(42.7%)
- 「携帯電話やパソコンのこと」(22.3%)
- 「お金のこと」(21.4%)

図12-2 家族との約束ごと



< 父親との会話の頻度 >

問12(1) 問3で、「1 お父さん」を選んだ人だけお答えください。
お父さんといっしょにいるとき、あなたはお父さんとよく話をしますか。

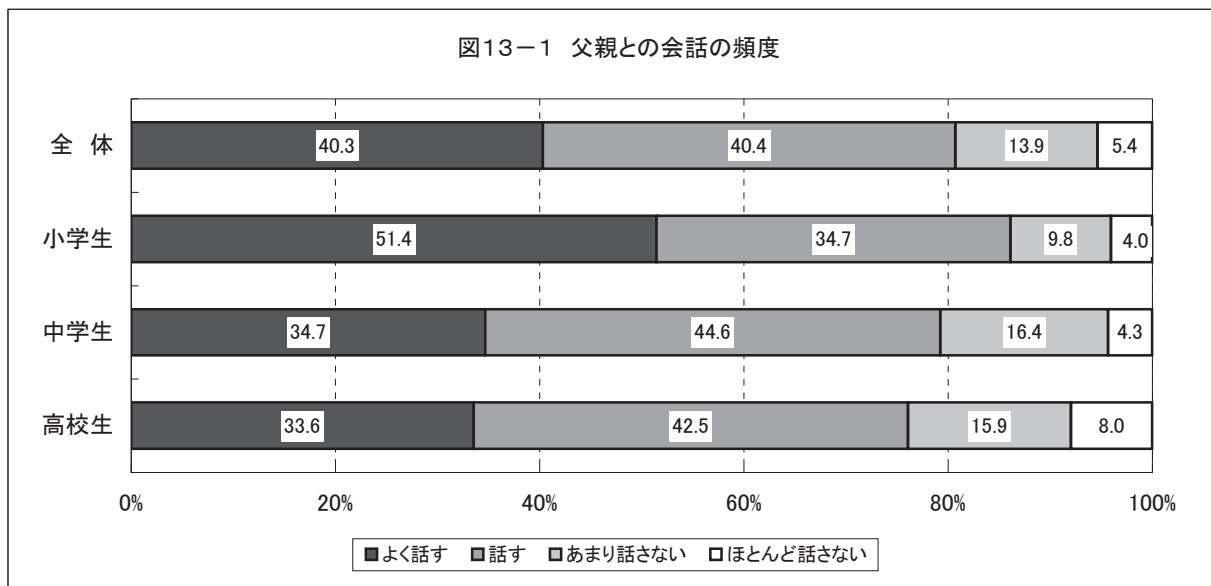
【全体集計結果】

問3で「お父さん」を選んだ人に父親との会話の頻度を尋ねたところ、「話す」が40.4%で最も高い。

「よく話す」と「話す」を合わせた『話す』80.7は%となっている。

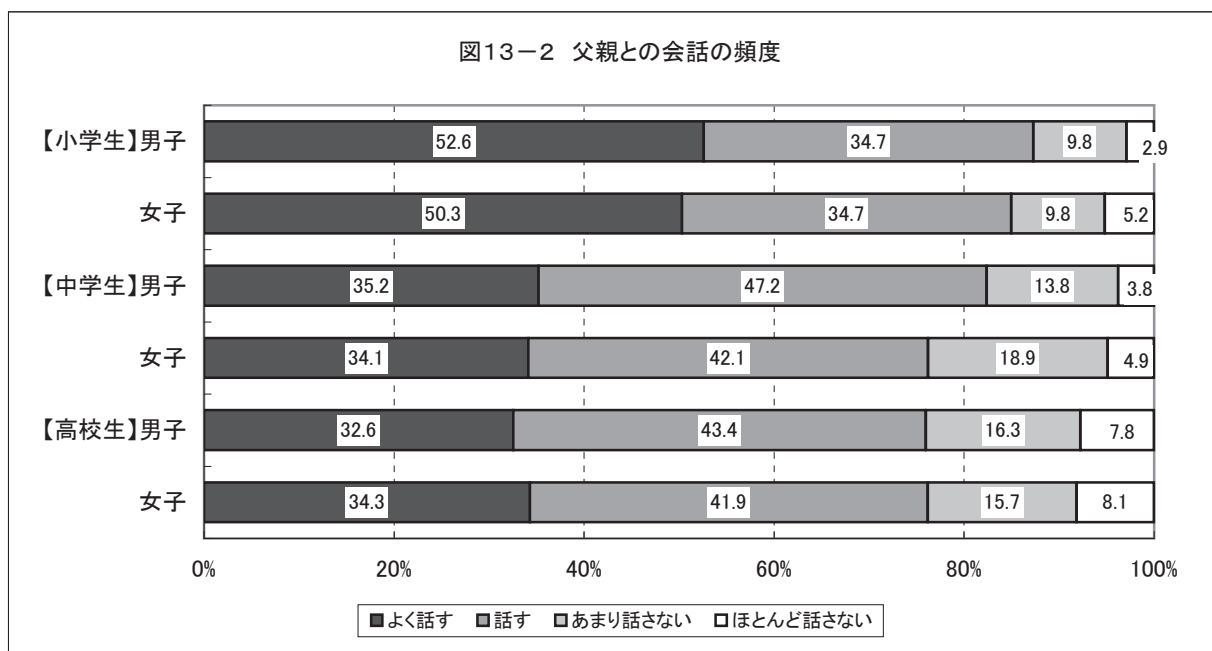
【学校種別集計結果】

『話す』を見てみると、小学生が86.1%で最も高く、以下、中学生(79.3%)、高校生(76.1%)となっている。



【属性別集計結果】

『話す』を見てみると、小学男子が87.3%で最も高い。また、小学生、中学生では男子のほうが女子よりもポイント高いが、高校生では男女にほとんど差が見られない。



< 母親との会話の頻度 >

問12(2) 問3で、「2 お母さん」を選んだ人だけお答えください。
お母さんといっしょにいるとき、あなたはお母さんとよく話をしますか。

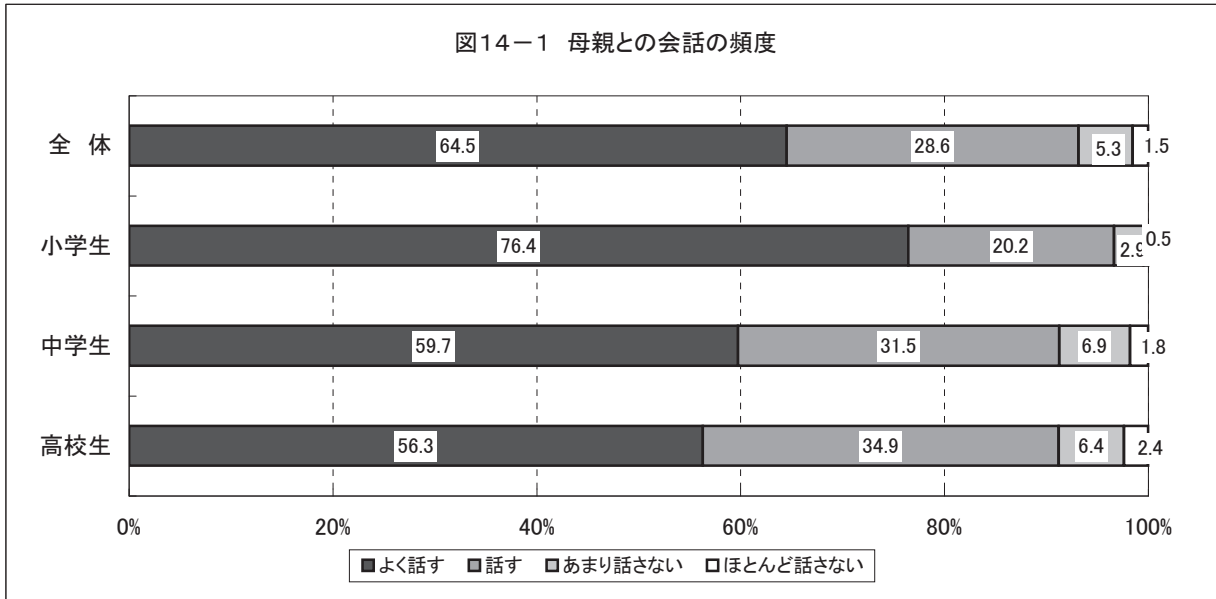
【全体集計結果】

問3で「お母さん」を選んだ人に母親との会話の頻度を尋ねたところ、「よく話す」が64.5%で最も高い。

「よく話す」と「話す」を合わせた『話す』は93.1%となっている。

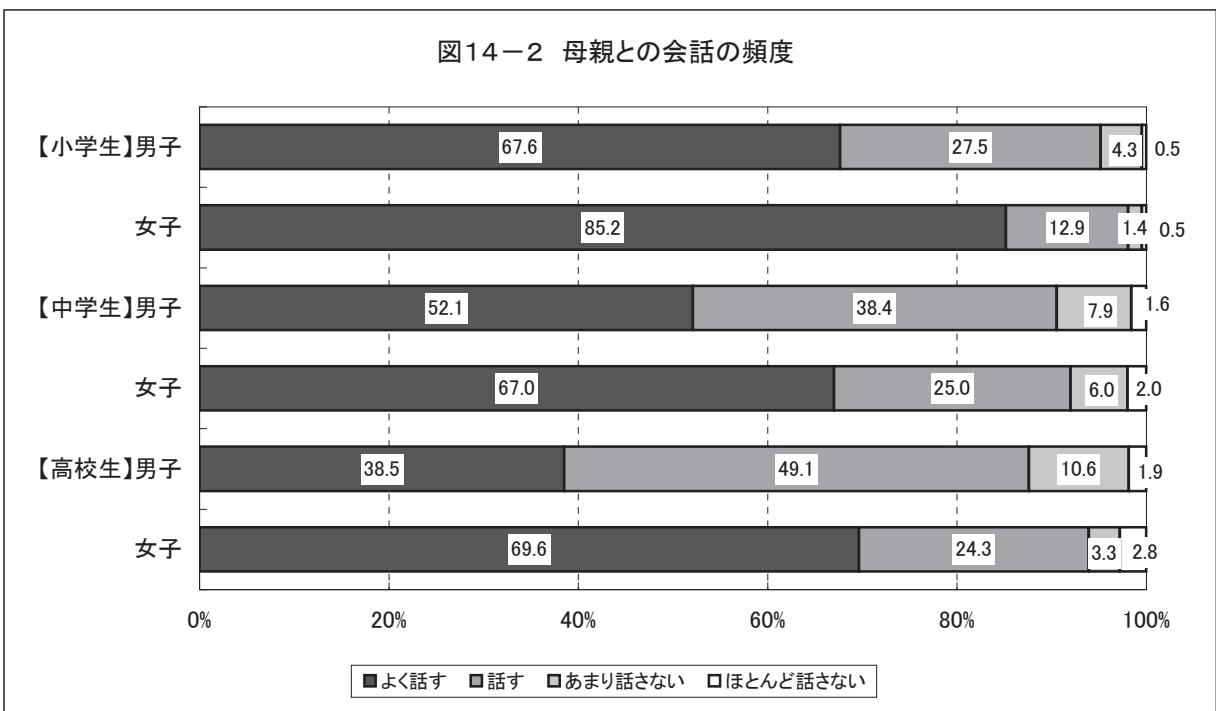
【学校種別集計結果】

『話す』を見てみると、小学生が96.6%で最も高く、以下、中学生(91.2%)、高校生(91.2%)となっている。



【属性別集計結果】

『話す』を見てみると、小学女子が98.1%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも女子のほうが男子よりも高い。



<家族や家庭に大切なこと>

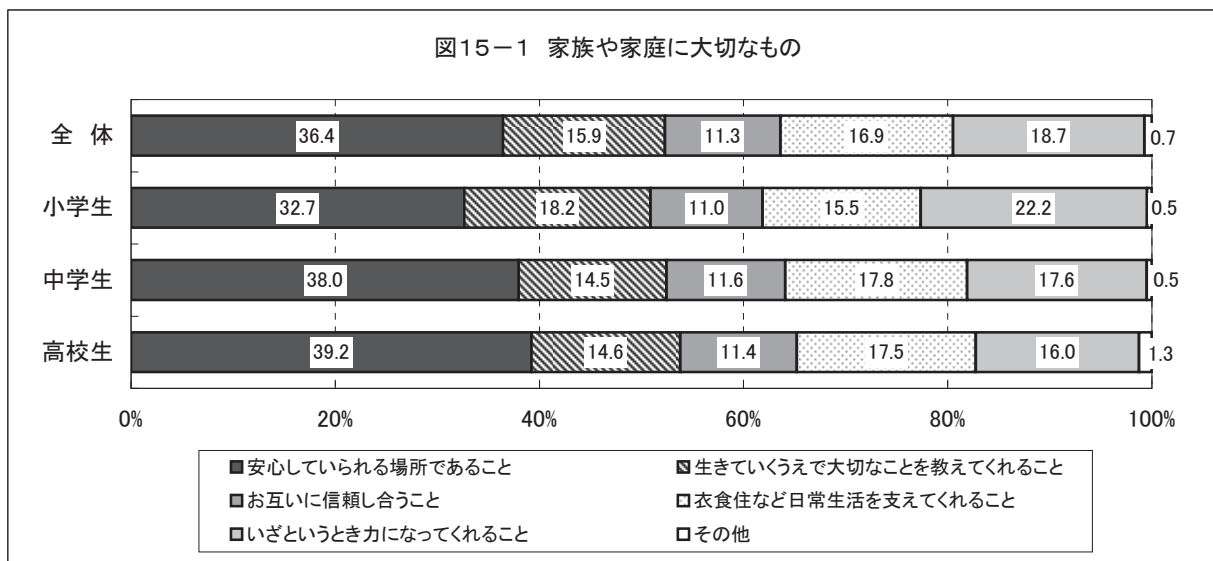
問13 あなたは、家族や家庭には何が大切だと思いますか。主に大切だと思うものを、2つ選んでください。

【全体集計結果】

家族や家庭に大切なものについて尋ねたところ、「安心していられる場所であること」が36.4%で最も高く、以下、「いざというとき力になってくれること」(18.7%)、「衣食住など日常生活を支えてくれること」(16.9%)などとなっている。

【学校種別集計結果】

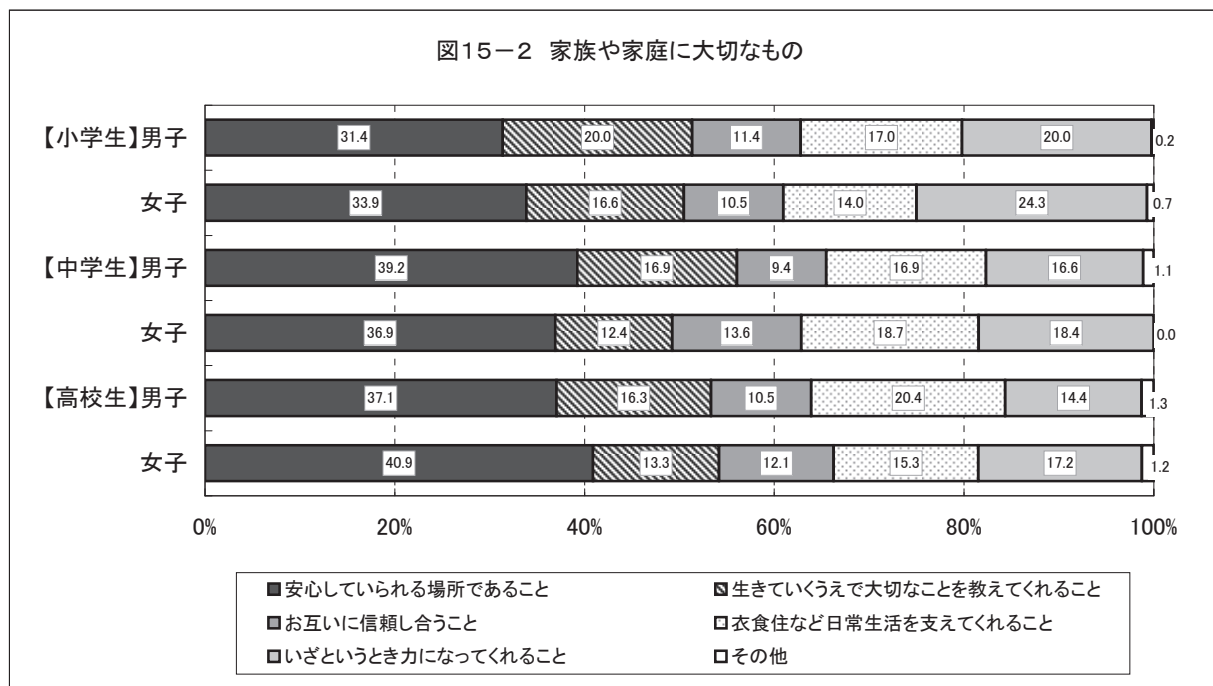
小学生が中学生、高校生に比べて割合が高い項目は、「いざというとき力になってくれること」(22.2%)、「生きていくうえで大切なことを教えてくれること」(18.2%)となっている。中学生と高校生については、どの項目もほぼ同じ割合である。



【属性別集計結果】

中学生では、「生きていくうえで大切なことを教えてくれること」で、男子のほうが女子よりも4.5ポイント高い。一方、「お互いに信頼し合うこと」では、女子のほうが男子よりも8.7ポイント高い。

高校生では、「衣食住など日常生活を支えてくれること」で、男子のほうが女子よりも5.1ポイントが高い。一方、「いざというとき力になってくれること」では、女子のほうが男子よりも2.8ポイント高い。

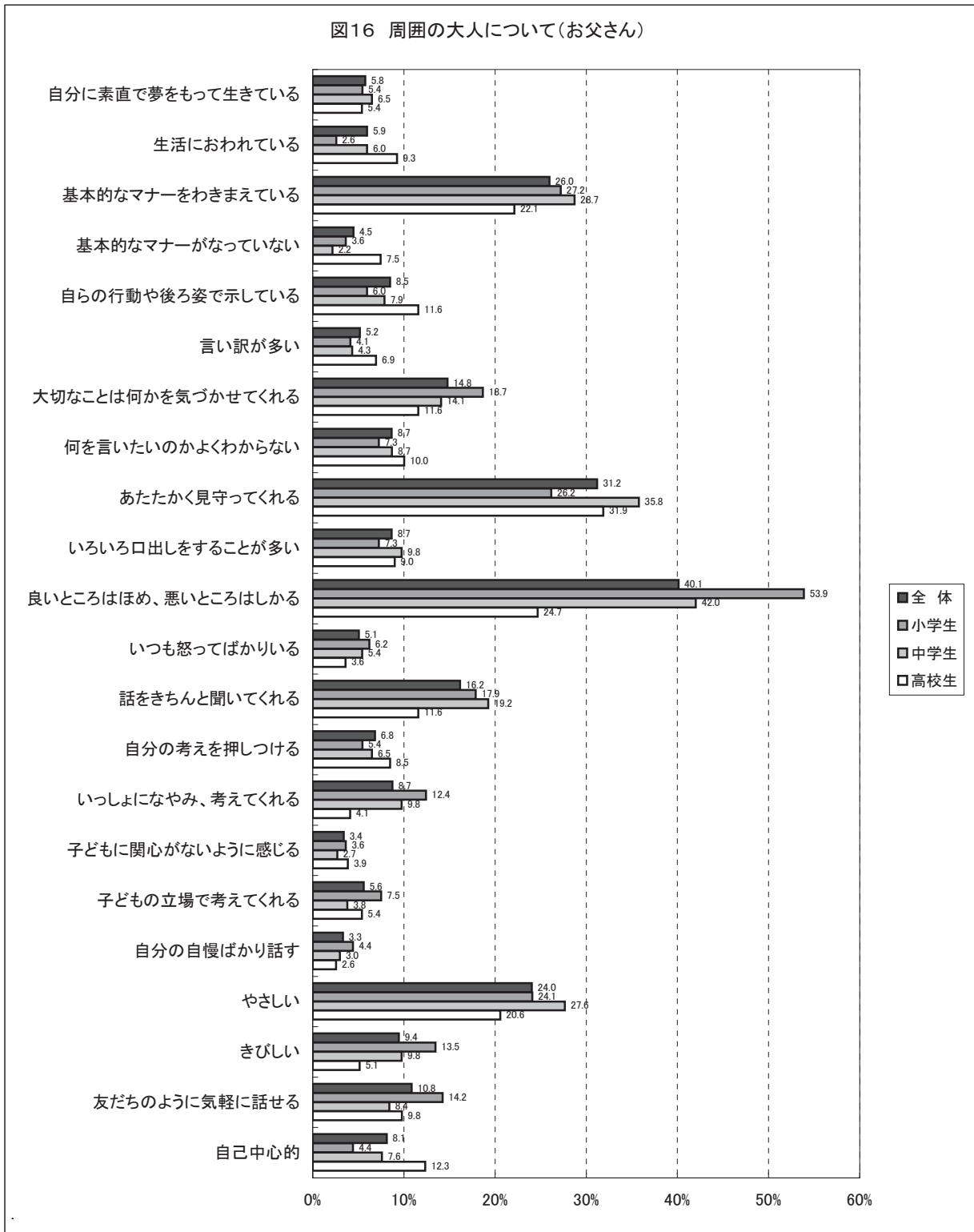


< 周囲の大人について >

問14	あなたの周りにいる大人について教えてください。 次の人たちを最もよく表していると思う番号を、3つ以内で選んでください。また、相手が別であれば、同じ番号を何度使ってもかまいません。
(1)	お父さん

【全体集計結果】

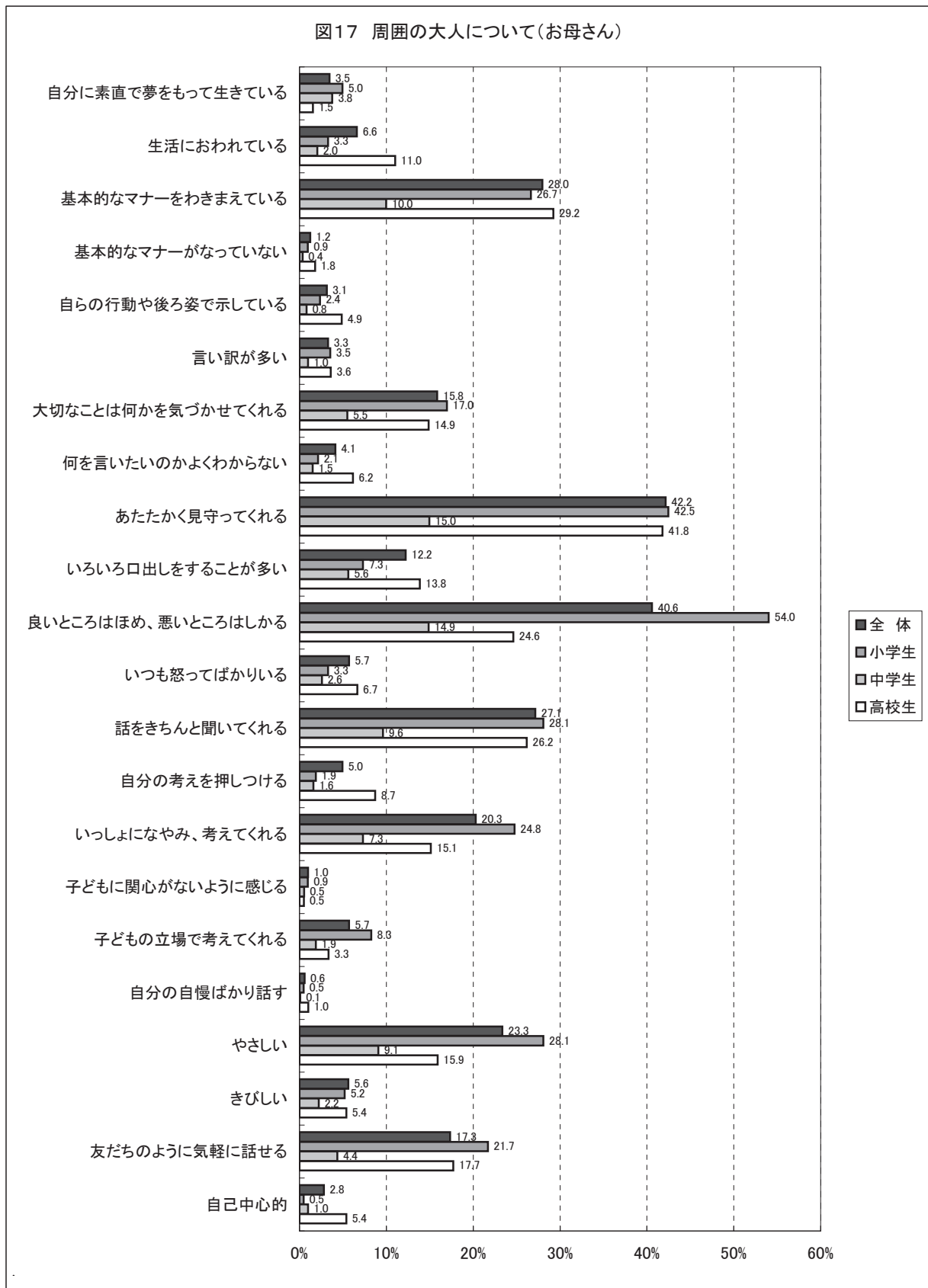
お父さんについてよく表している項目を尋ねたところ、「良いところはほめ、悪いところはしかる」が40.1%で最も高く、以下、「あたたかく見守ってくれる」(31.2%)、「基本的なマナーをわかまえている」(26.0%)などとなっている。



(2) お母さん

【全体集計結果】

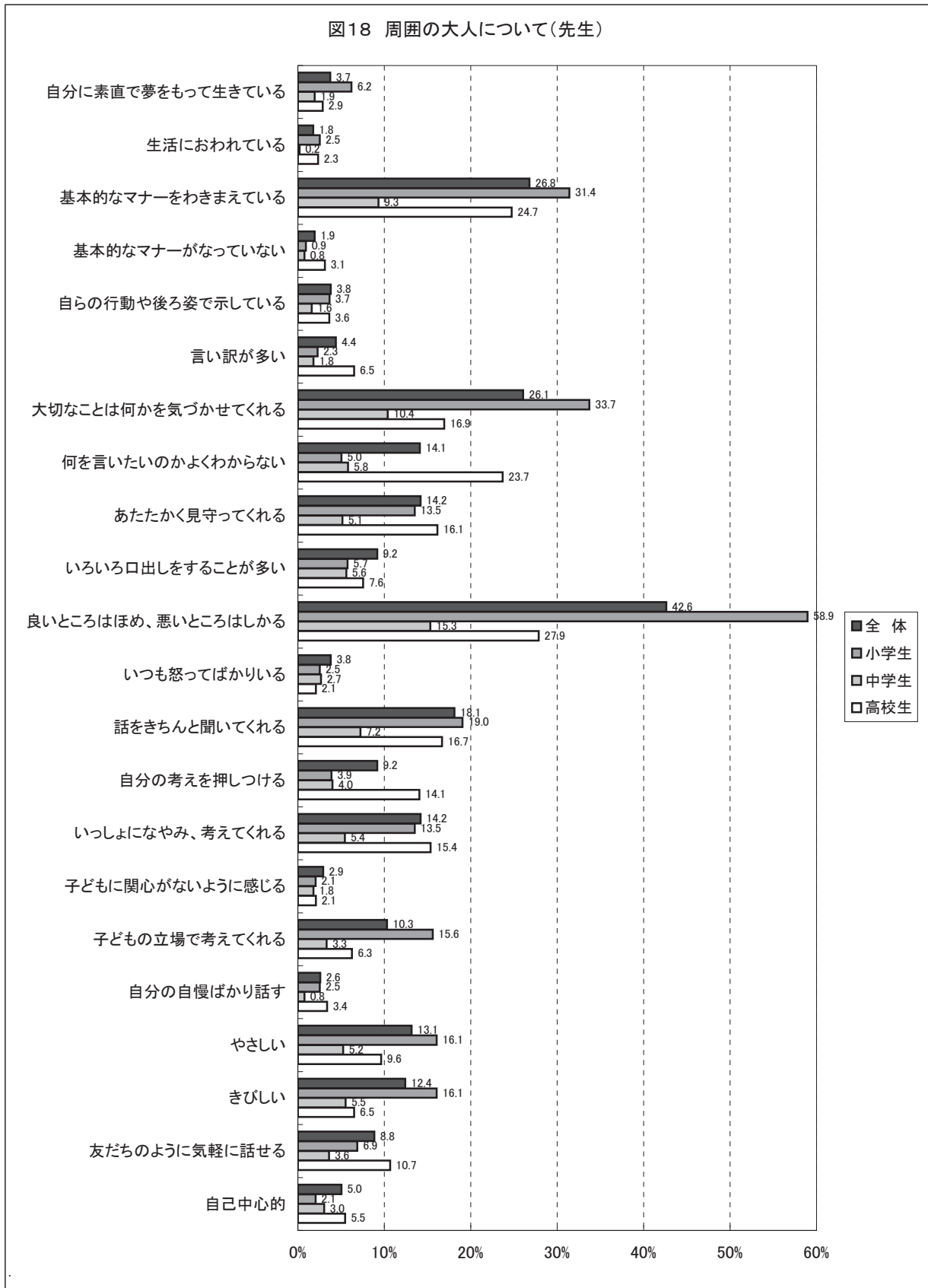
お母さんについてよく表している項目を尋ねたところ、「あたたかく見守ってくれる」が42.2%で最も高く、以下、「良いところはほめ、悪いところはしかる」(40.6%)、「基本的なマナーをわかまえている」(28.0%)などとなっている。



(3) 先生

【全体集計結果】

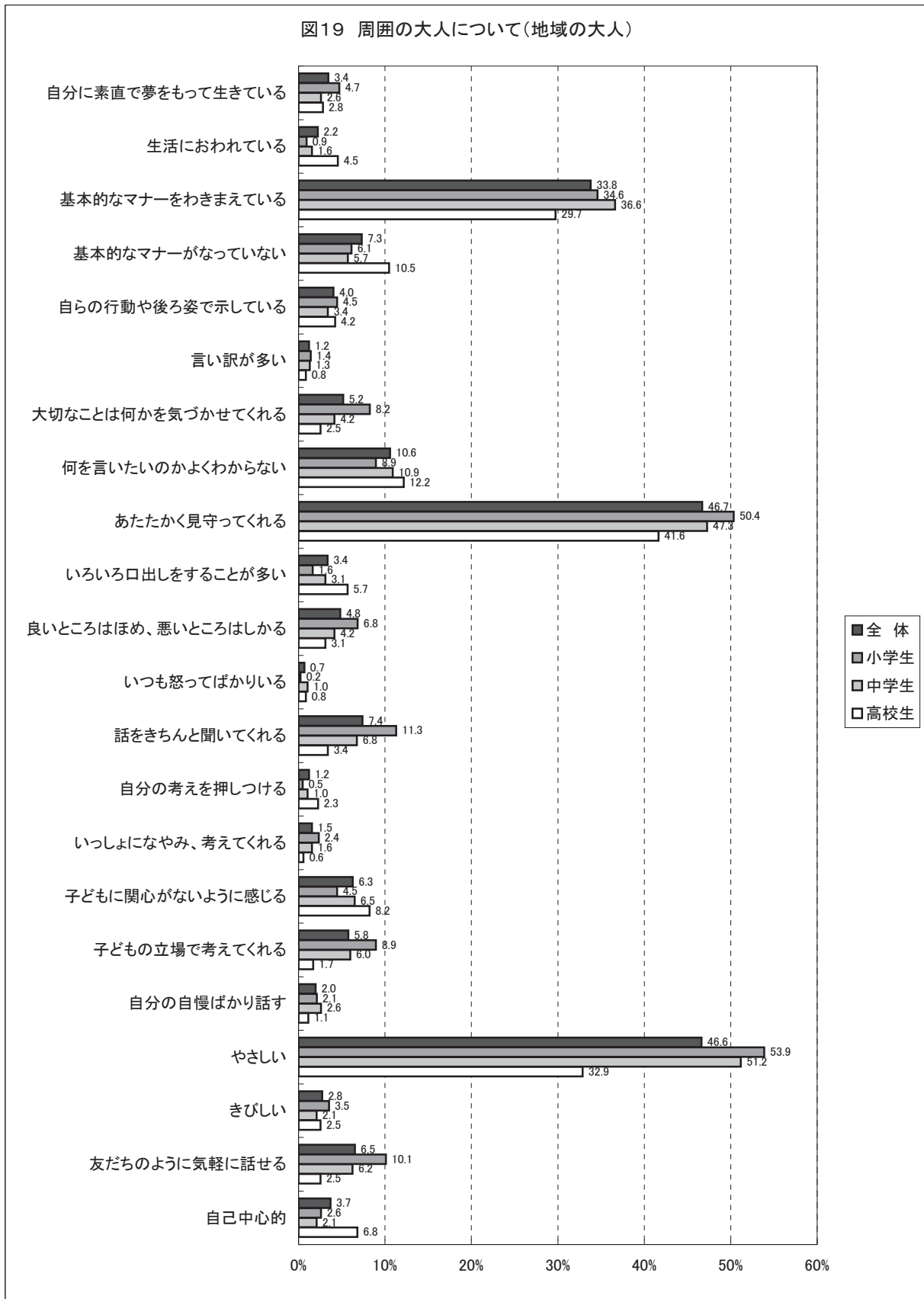
先生についてよく表している項目を尋ねたところ、「良いところはほめ、悪いところはしかる」が42.6%で最も高く、以下、「基本的なマナーをわかまえている」(26.8%)、「大切なことは何かを気づかせてくれる」(26.1%)などとなっている。



(4) 地域の大人

【全体集計結果】

地域の大人についてよく表している項目を尋ねたところ、「あたたかく見守ってくれる」が46.7%で最も高く、以下、「やさしい」(46.6%)、「基本的なマナーをわかまえている」(33.8%)などとなっている。

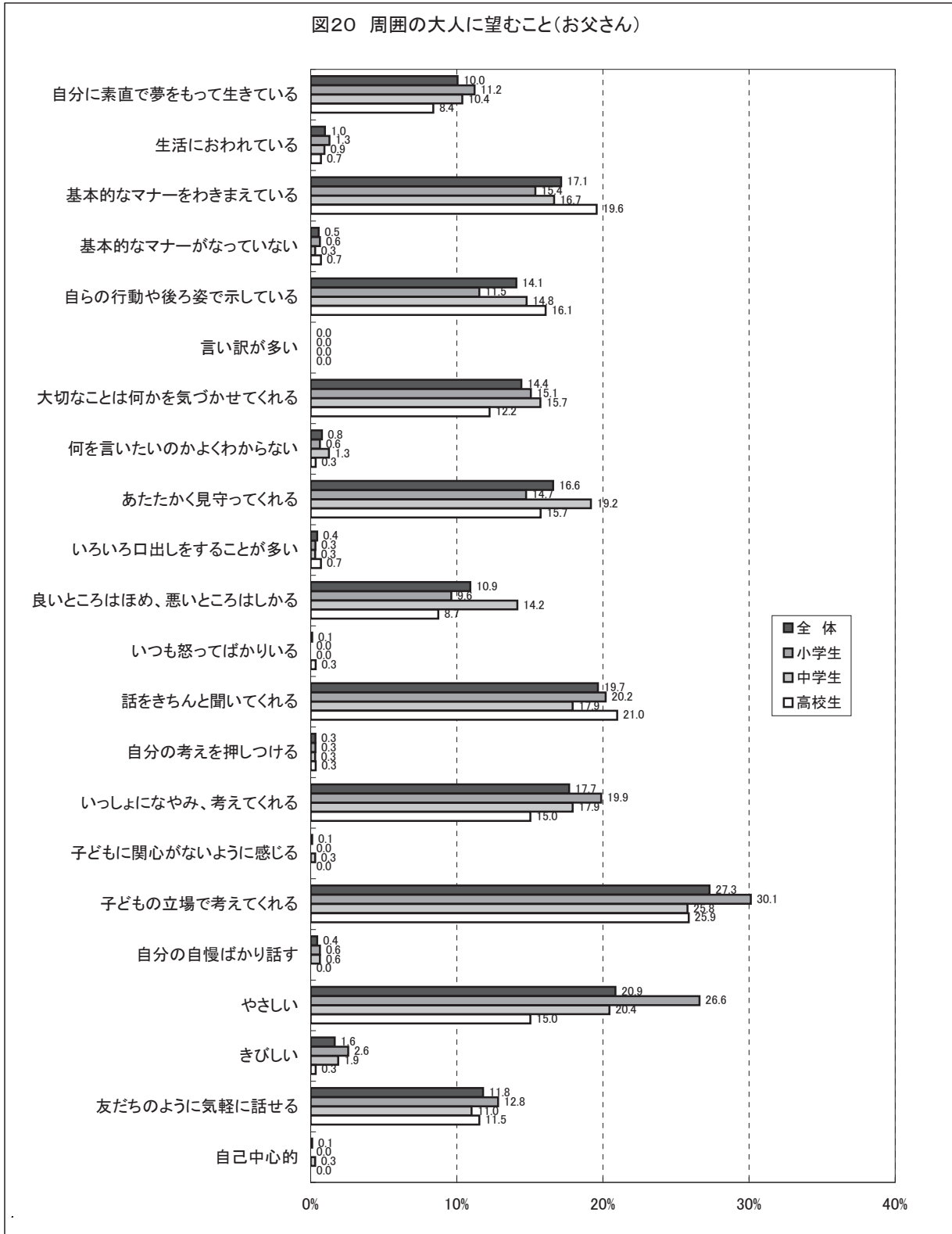


< 周囲の大人に望むこと >

問15	次の人たちに、「こういうことが加わったらもっといいのにな」と思うのはどんなことですか。3つ以内で選んでください。また、相手が別であれば、同じ番号を何度使ってもかまいません。
(1)	お父さん

【全体集計結果】

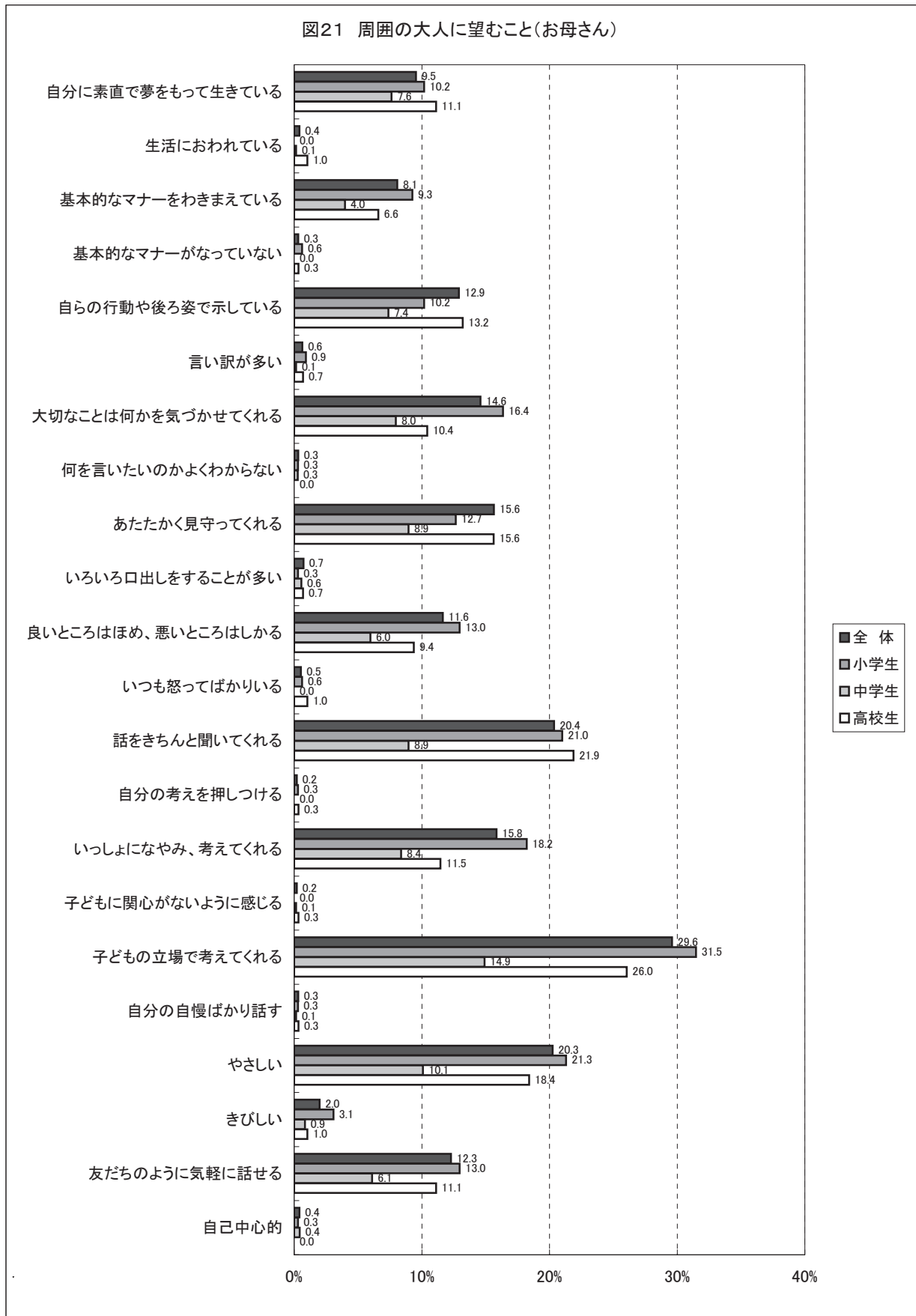
お父さんにさらに望む項目について尋ねたところ、「子どもの立場で考えてくれる」が27.3%で最も高く、以下、「やさしい」(20.9%)、「話をきちんと聞いてくれる」(19.7%)などとなっている。



(2) お母さん

【全体集計結果】

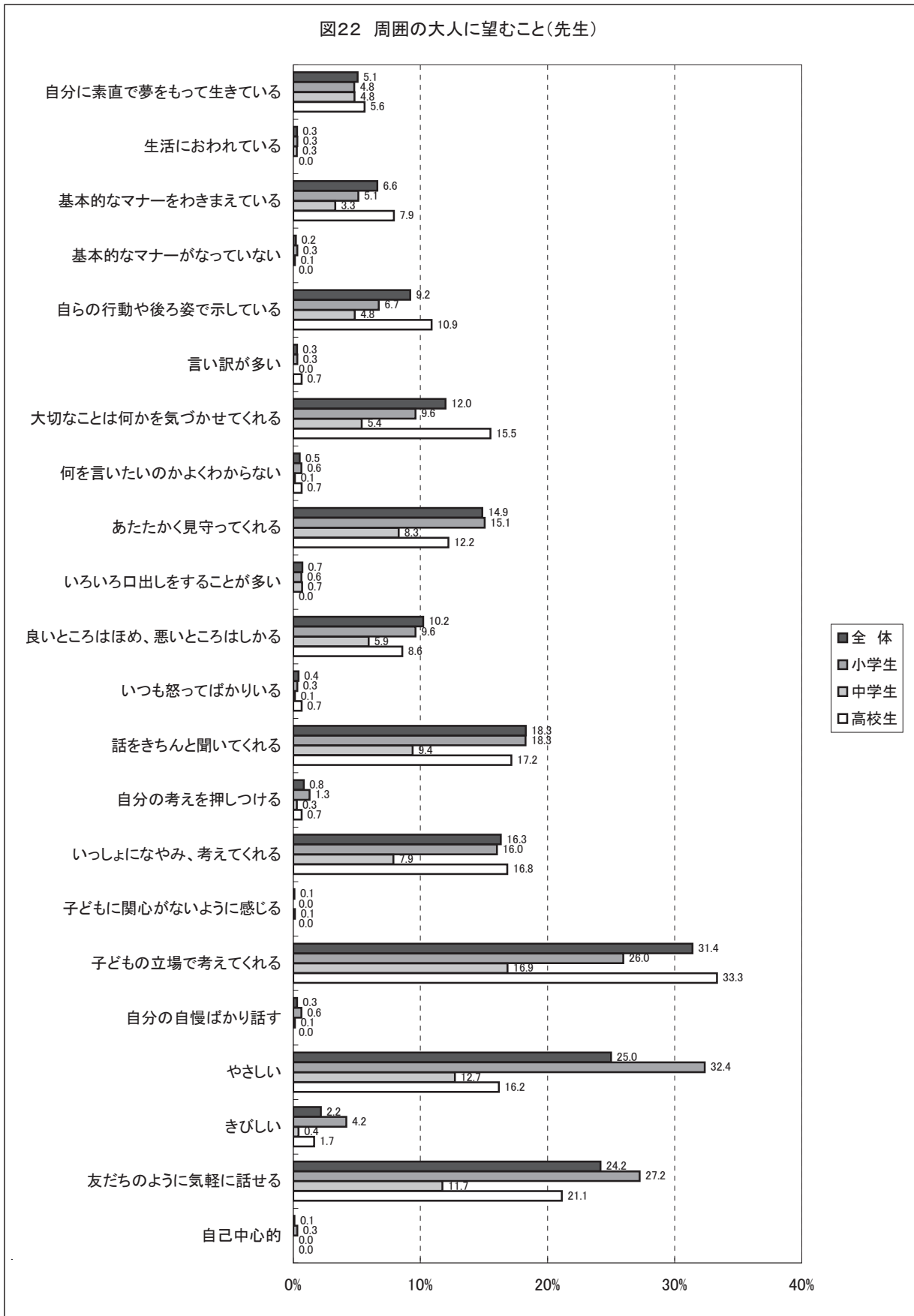
お母さんにさらに望む項目について尋ねたところ、「子どもの立場で考えてくれる」が29.6%で最も高く、以下、「話をきちんと聞いてくれる」(20.4%)、「やさしい」(20.3%)などとなっている。



(3) 先生

【全体集計結果】

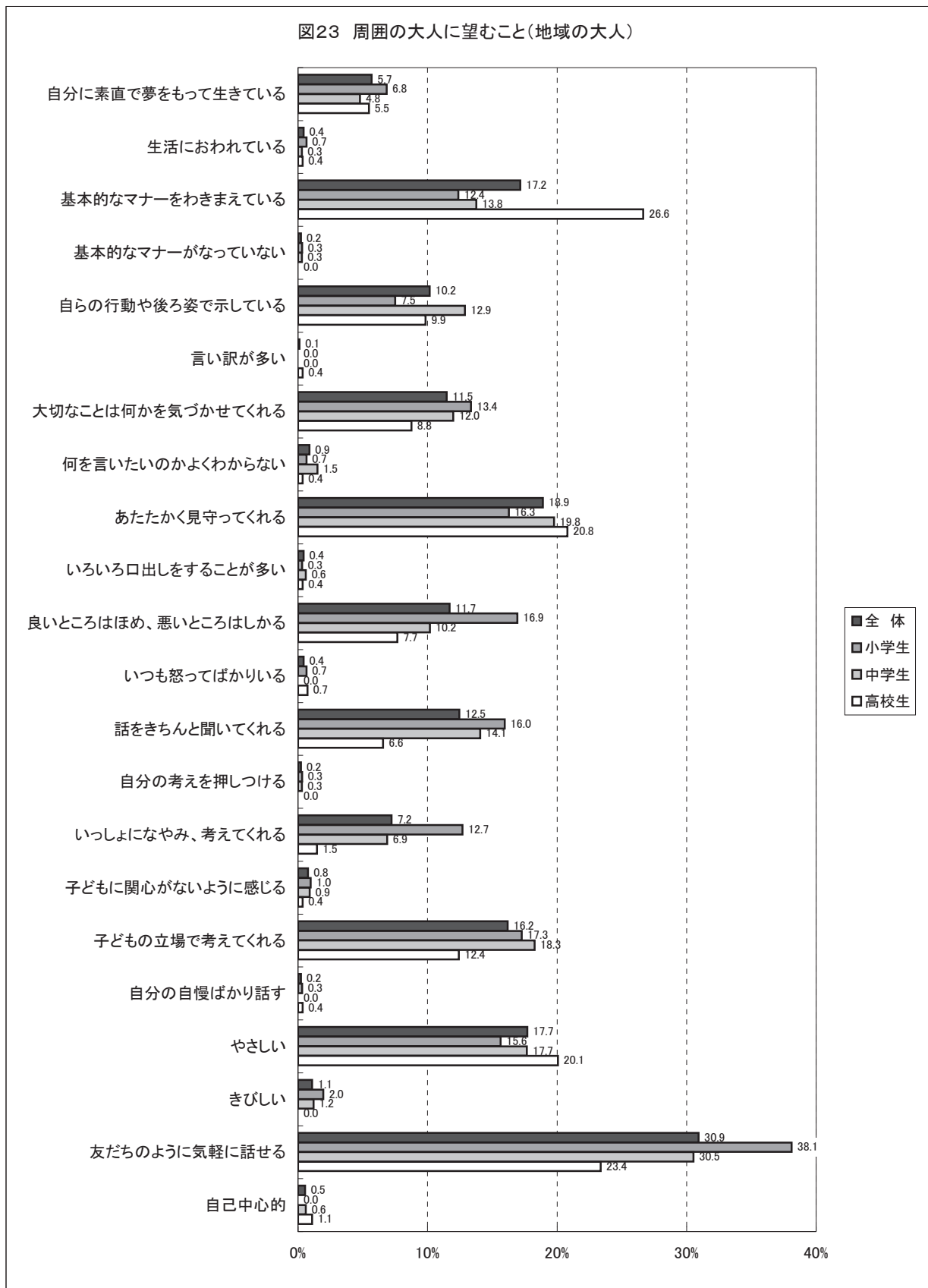
先生にさらに望む項目について尋ねたところ、「子どもの立場で考えてくれる」が31.4%で最も高く、以下、「やさしい」(25.0%)、「友だちのように気軽に話せる」(24.2%)などとなっている。



(4) 地域の大人

【全体集計結果】

地域の大人にさらに望む項目について尋ねたところ、「友だちのように気軽に話せる」が30.9%で最も高く、以下、「あたたかく見守ってくれる」(18.9%)、「やさしい」(17.7%)などとなっている。



< 家族以外のお年寄りとのふれ合い >

問22	あなたは、過去一年間で、自分の家族以外のお年寄りと何かふれ合ったことはありませんか。あてはまるものは、いくつでも選んでください。
-----	--

【全体集計結果】

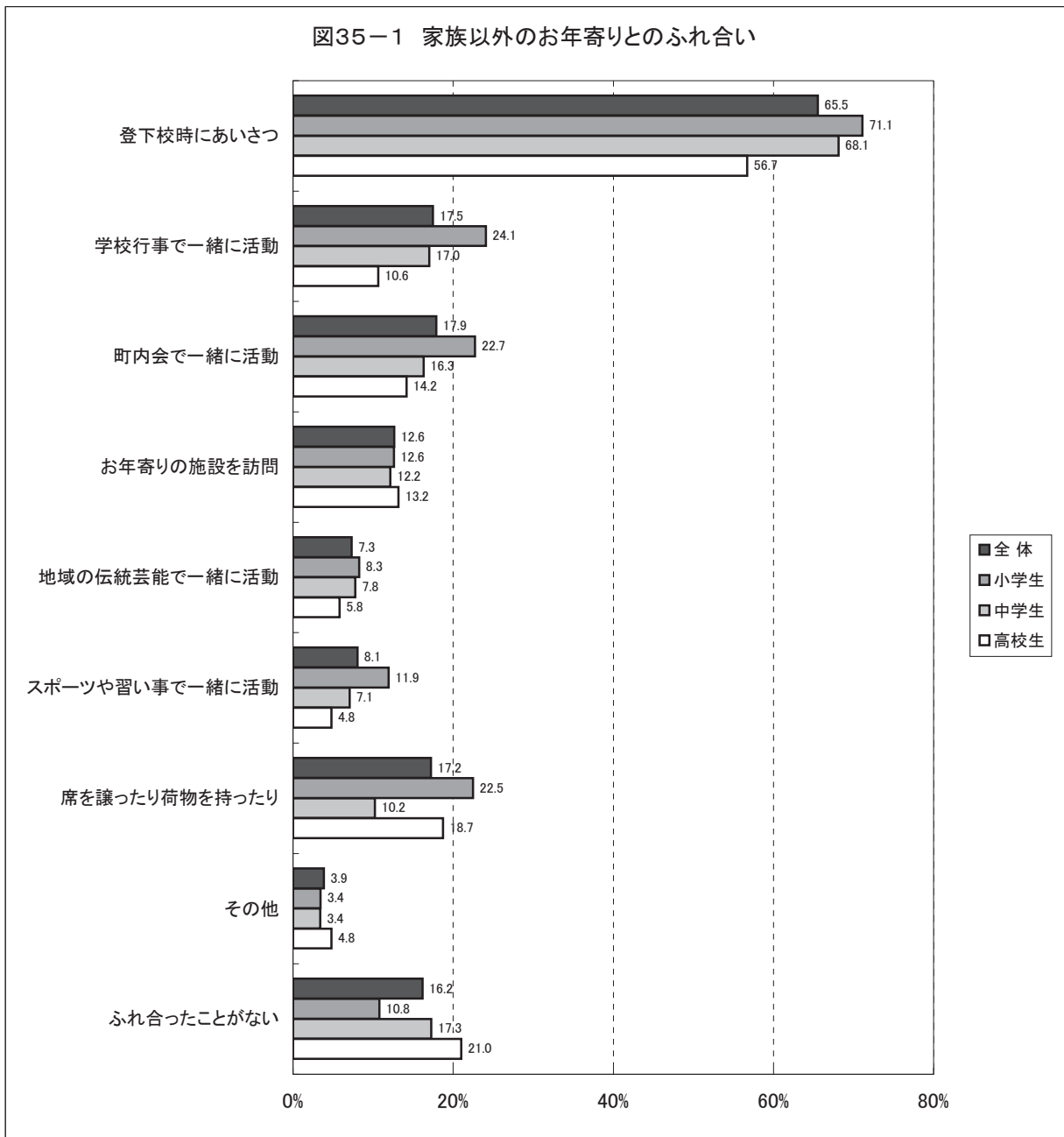
過去一年間で、自分の家族以外のお年寄りとは何かふれ合ったところ、「登下校時にあいさつ」が65.5%で最も高く、以下、「町内会で一緒に活動」(17.9%)、「学校行事で一緒に活動」(17.5%)、などとなっている。

【学校種別集計結果】

小学生では、「登下校時にあいさつ」が71.1%で最も高く、以下、「町内会で一緒に活動」(24.1%)、「学校行事で一緒に活動」(22.7%)などとなっている。

中学生では、「登下校時にあいさつ」が68.1%で最も高く、以下、「ふれ合ったことがない」(21.0%)、「学校行事で一緒に活動」(17.0%)などとなっている。

高校生では、「登下校時にあいさつ」が56.7%で最も高く、以下、「ふれ合ったことがない」(21.0%)、「席を譲ったり荷物を持ったり」(18.7%)などとなっている。



【属性別集計結果】

小学男子、小学女子、中学男子、中学女子、高校男子、高校女子それぞれの割合が高い項目を3つあげると、以下のようになっている。

〈小学男子〉

- 「登下校時にあいさつ」(67.3%)
- 「学校行事で一緒に活動」(24.0%)
- 「町内会で一緒に活動」(22.1%)

〈中学男子〉

- 「登下校時にあいさつ」(67.0%)
- 「学校行事で一緒に活動」(17.3%)
- 「ふれ合ったことがない」(17.3%)

〈高校男子〉

- 「登下校時にあいさつ」(50.6%)
- 「ふれ合ったことがない」(26.7%)
- 「席を譲ったり荷物を持ったり」(13.4%)

〈小学女子〉

- 「登下校時にあいさつ」(74.9%)
- 「学校行事で一緒に活動」(24.2%)
- 「席を譲ったり荷物を持ったり」(24.2%)

〈中学女子〉

- 「登下校時にあいさつ」(69.2%)
- 「ふれ合ったことがない」(17.3%)
- 「学校行事で一緒に活動」(16.8%)
- 「席を譲ったり荷物を持ったり」(16.8%)

〈高校女子〉

- 「登下校時にあいさつ」(61.4%)
- 「席を譲ったり荷物を持ったり」(22.9%)
- 「ふれ合ったことがない」(16.6%)

図35-2 家族以外のお年寄りとのふれ合い

